

第19回新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部会議 次第

日時 令和2年11月14日 13:00～

場所 第二分庁舎6階 災害対策本部室

- 1 開会
- 2 本部長あいさつ
- 3 議題
県内の感染状況について
- 4 その他

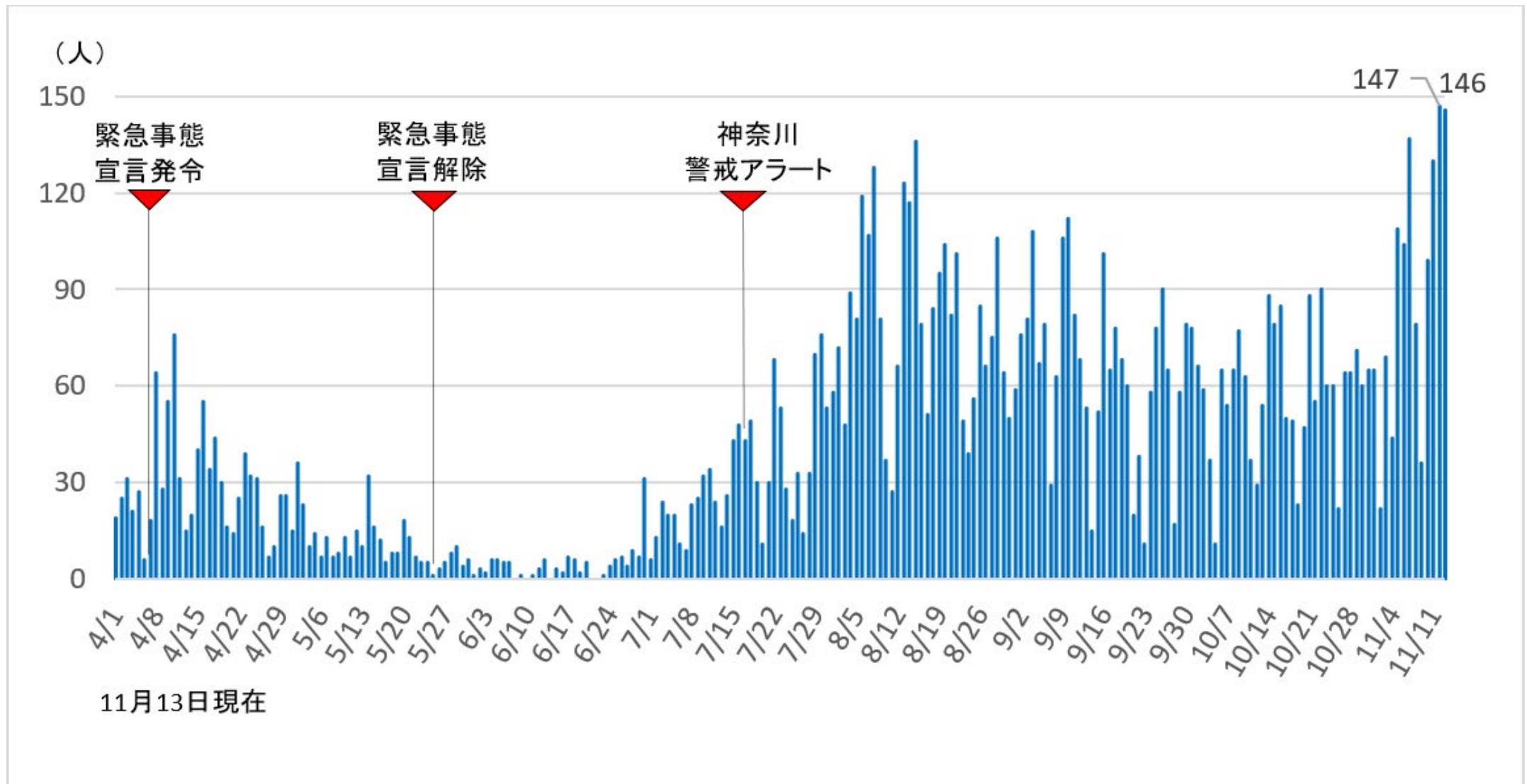


県内の感染状況について

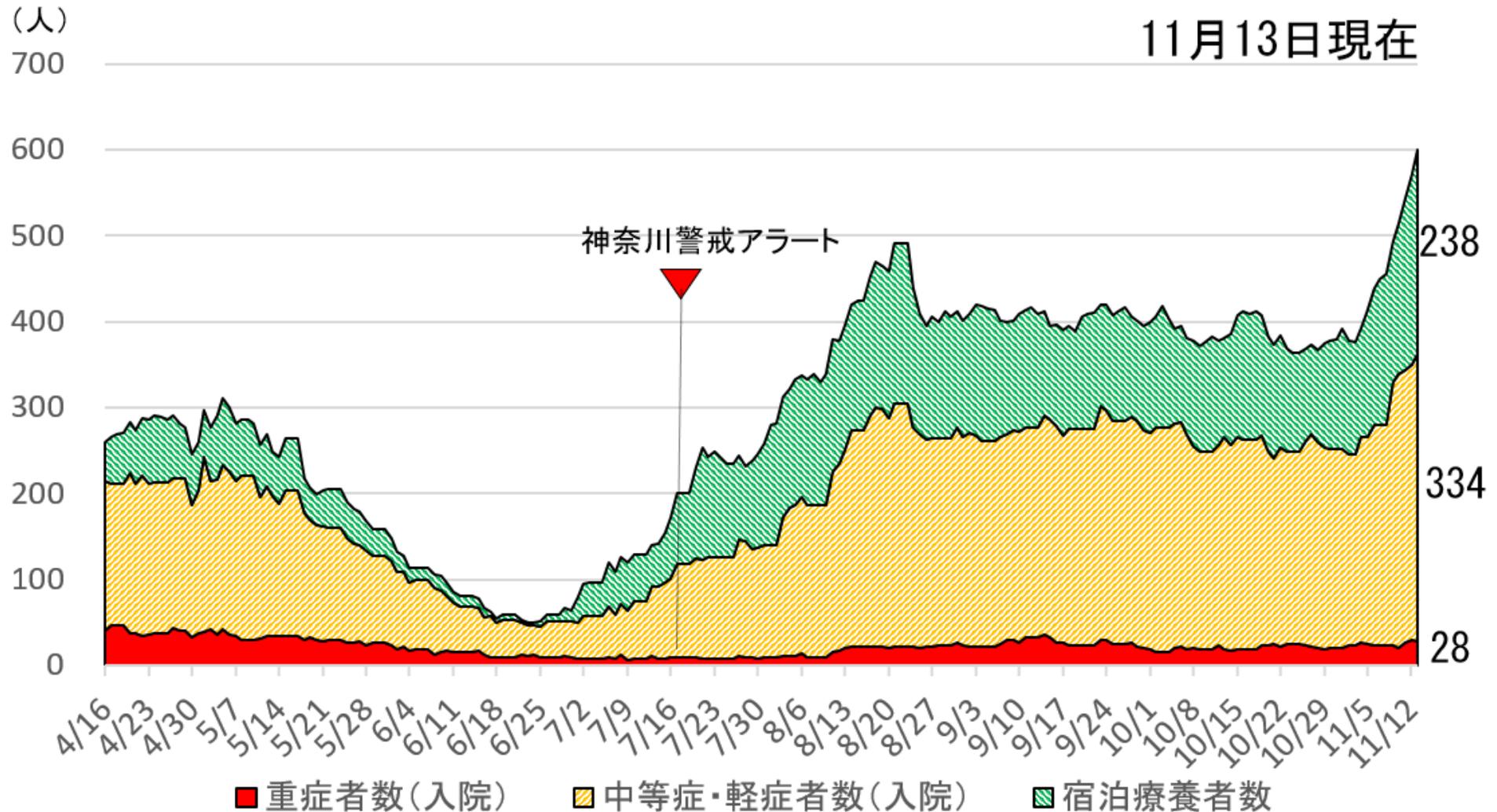
令和2年11月14日

健康医療局医療危機対策本部室

新規感染者の推移（実数・日別）



入院者数・宿泊療養者数の推移



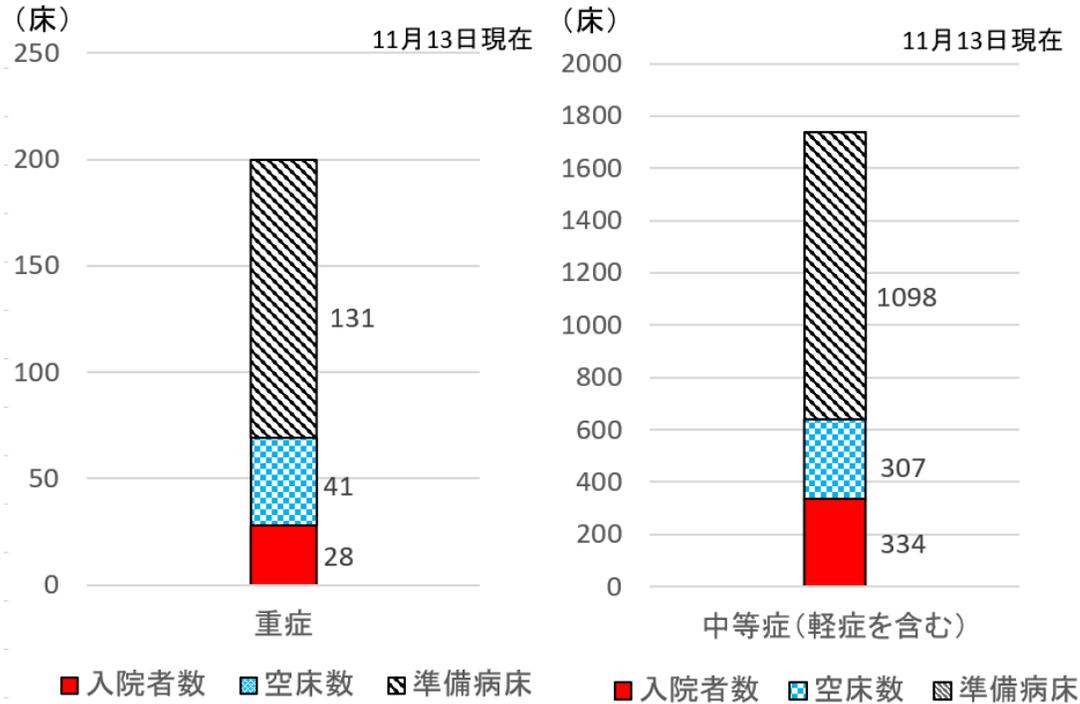
※入院患者数には疑似症患者数は含まない。

モニタリング指標と本県の状況について

	医療提供体制等の負荷		監視体制	感染の状況			クラスター発生状況	
	①病床のひっ迫具合			③PCR陽性率	④新規報告数	⑤直近一週間と先週一週間の比較		⑥感染経路不明率
	病床全体	うち重症者用病床	②療養者数				⑦クラスター発生状況	
本県の状況 (時点)	18.67% 362床 11/13	14.00% 28床 11/13	849人 11/12	6.52% 11/12	774人 11/13	多い (11/7 ~ 11/13 774) (10/31 ~ 11/6 478)	49.4% 11/13	(医療機関) 5施設、計196人 (福祉介護) 6施設、計110人 (学校大学) 0施設、計0人 (幼保児童) 1施設、計33人 (その他) 8施設、計120人 11/13
ステージⅢの指標	・最大確保病床の占有率 20%	・最大確保病床の占有率 20%	人口10万人当たり全療養者数(※) 15人以上 ※入院者、自宅・宿泊療養者の合計	10%	人口10万人当たり15人/週	直近一週間が先週一週間よりも多い	50%	—
本県における基準	388床 1939床(※)×0.2 ※疑似症含まない確保病床数	40床 200床×0.2	1383人 92.19×15人	10%	1383人 (週平均197.5人) 92.19×15人	直近一週間が先週一週間よりも多い	50%	—
ステージⅣの指標	・最大確保病床の占有率 50%	・最大確保病床の占有率 50%	人口10万人当たり全療養者数(※) 25人以上 ※入院者、自宅・宿泊療養者の合計	10%	人口10万人当たり25人/週	直近一週間が先週一週間よりも多い	50%	—
本県における基準	970床 1939床(※)×0.5 ※疑似症含まない確保病床数	100床 200床×0.5	2304人 (週平均329.1人/日) 92.19×25人	10%	2304人 (週平均329.1人) 92.19×25人	直近一週間が先週一週間よりも多い	50%	—

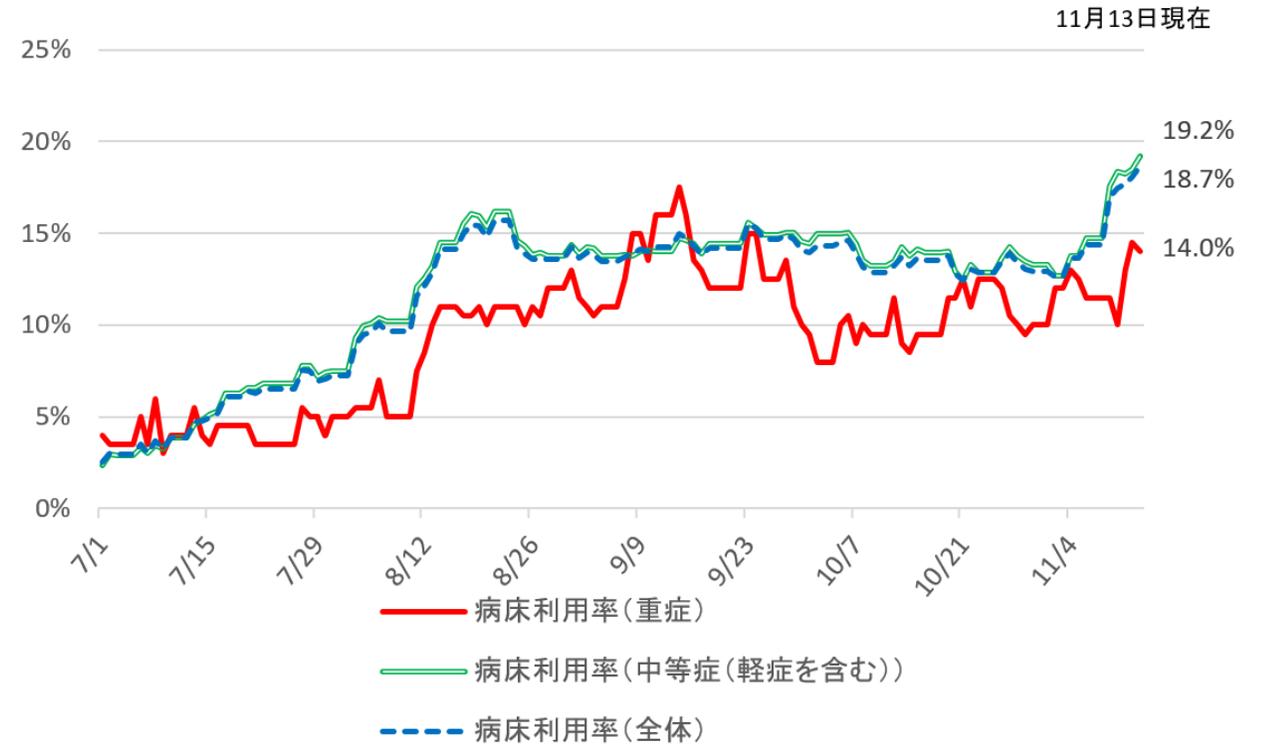
病床利用率 (モニタリング指標①)

■ 病床利用率



※入院者数 + 空床数 = 即応病床数
 準備病床は、最終的な確保病床数（1939床 = 重症200床 + 中等症（軽症を含む）1739床）から即応病床数を引いた数

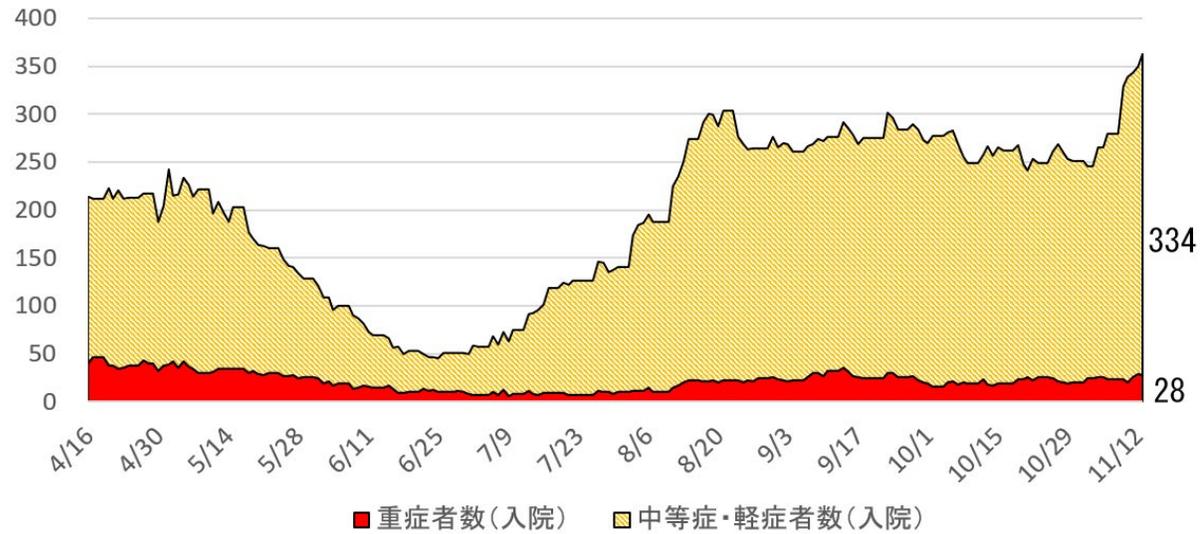
■ 病床利用率の推移



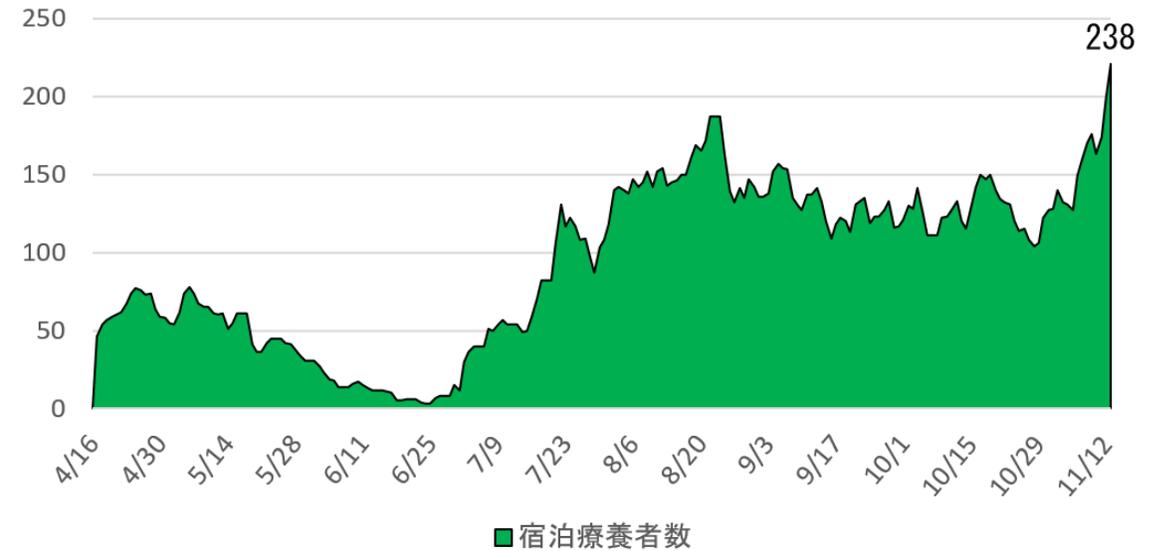
※県のモニタリング指標におけるステージⅢ移行の基準値として、病床全体及び重症用病床の各最大確保病床の占有率が20%以上であることを設定している。
 ※病床利用率は、最終的な確保病床に対する現在の入院者数で計算。休日における病床利用率は、直前の平日の数値を用いて計算

入院者数・宿泊療養者数の推移

入院者数 11月13日現在



宿泊療養者数 11月13日現在

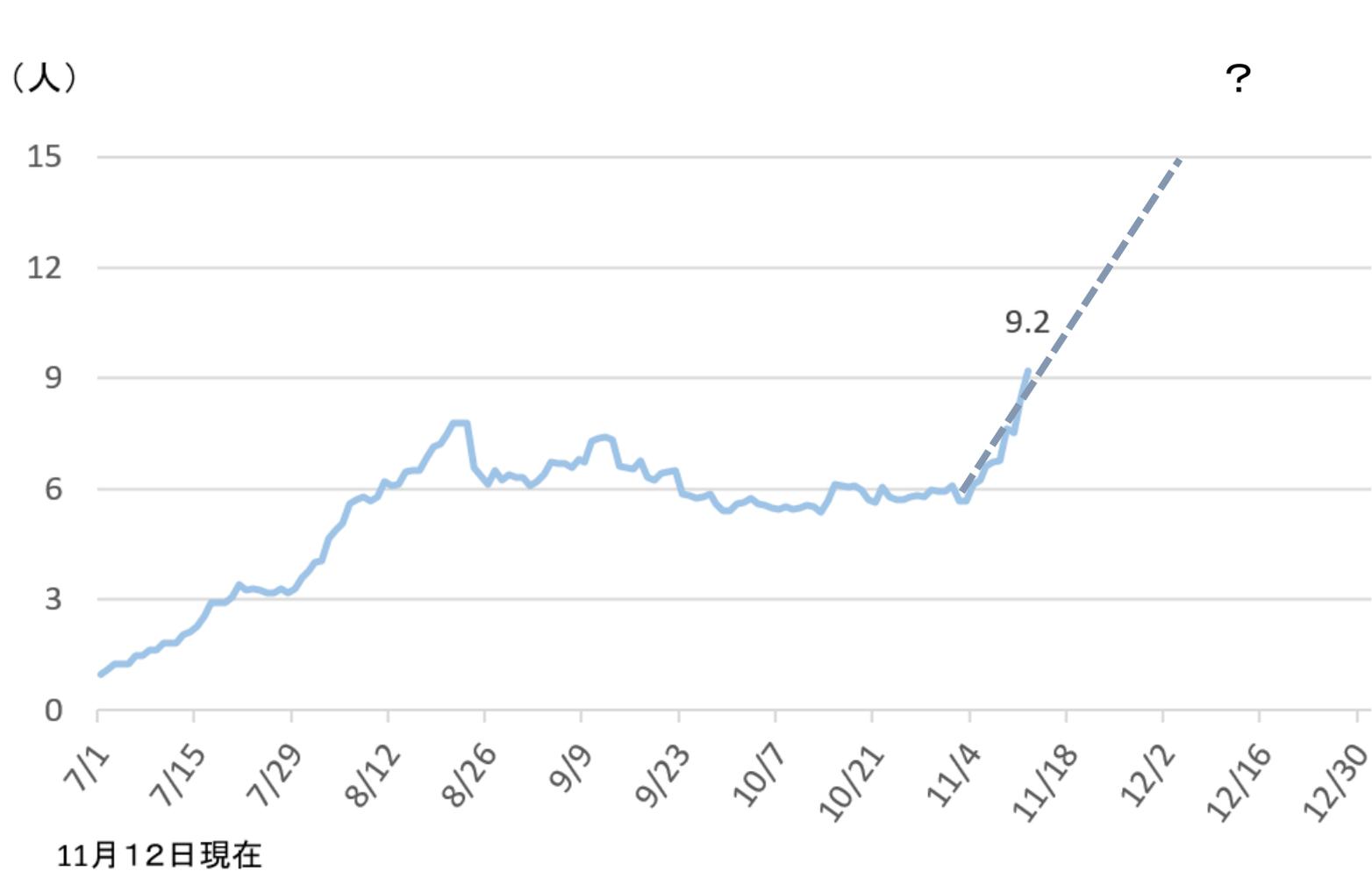


※入院患者数には疑似症患者数は含まない。

人口10万人当たりの療養者数の推移（モニタリング指標②）

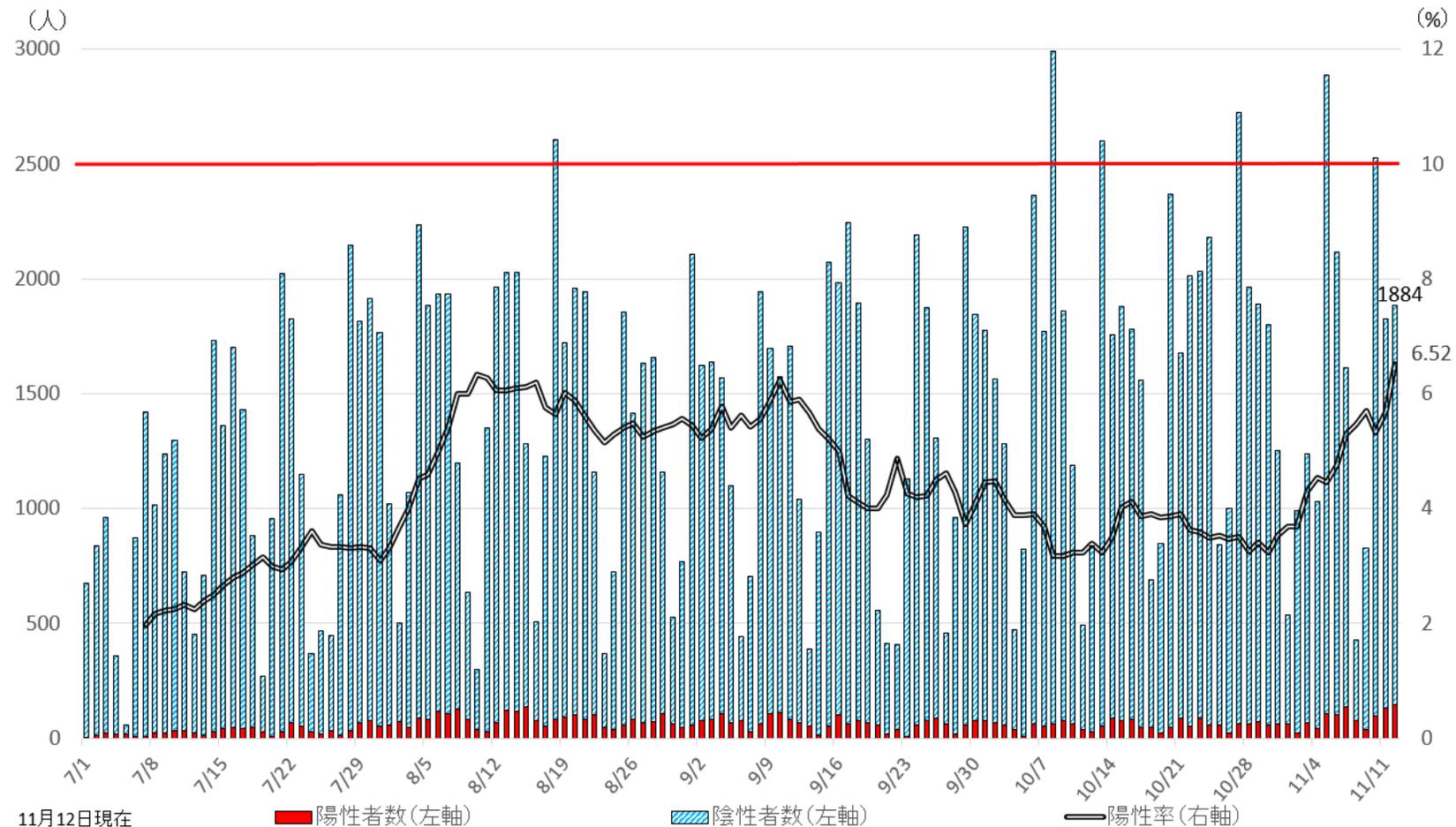


神奈川県



※県のモニタリング指標におけるステージⅢ移行の基準値として、15人（／週）以上であることを設定している。
※各日における入院者（疑似症は含まない。）+ 自宅・宿泊療養者の合計数を人口10万人当たりに換算

検査人数と陽性率の推移（モニタリング指標③）



※県のモニタリング指標におけるステージⅢ移行の基準値として、10%以上であることを設定している。

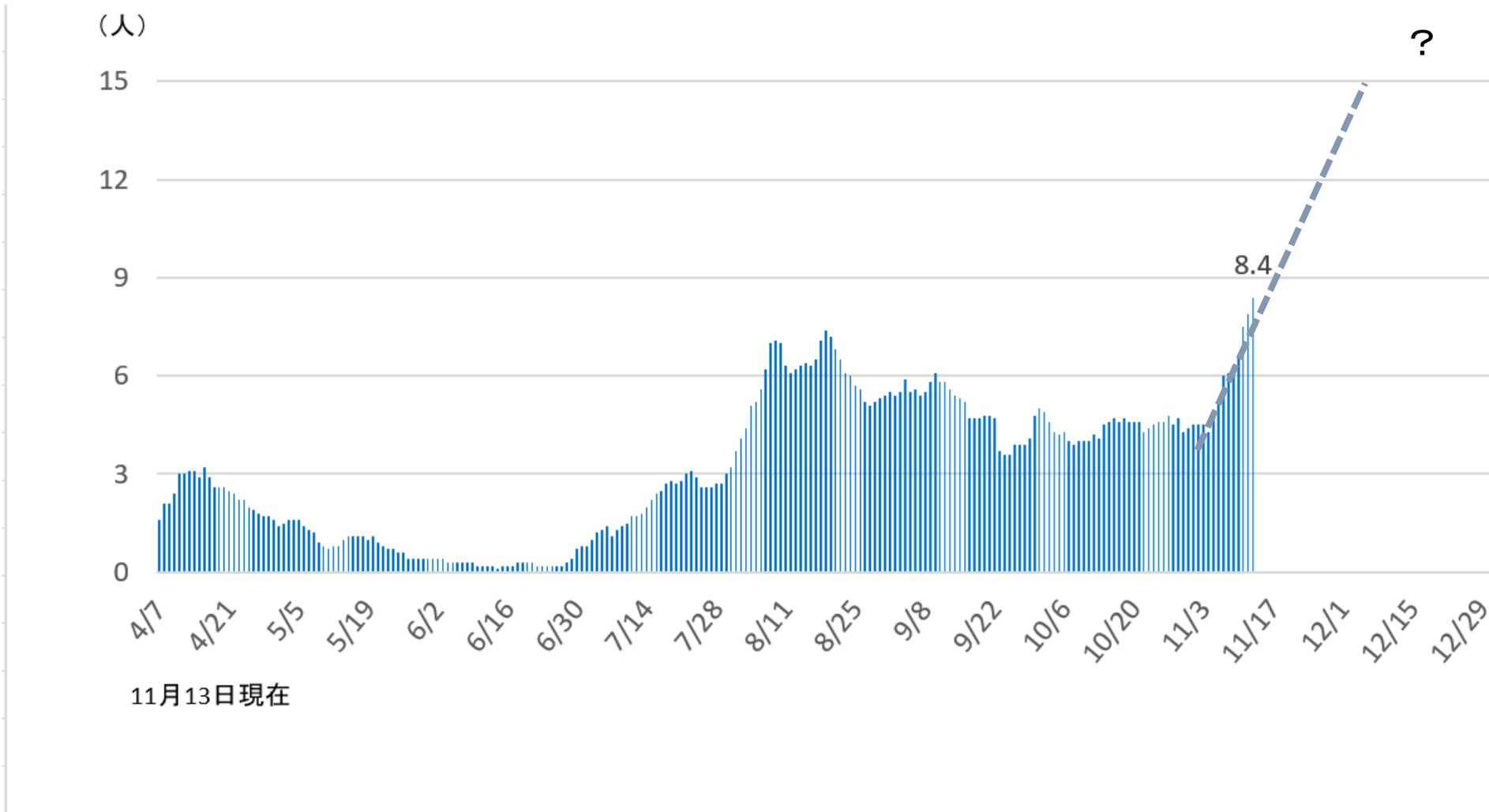
※検査人数には、地方衛生研究所、民間検査機関、医療機関の実施数の合計。陽性患者数＋陰性者数＝検査人数。

陽性率は、過去1週間の平均。医療機関等からの報告が後日になることにより、さかのぼって件数が修正される場合があります。

新規感染者の推移(人口10万人当たり・週合計)(モニタリング指標④)



神奈川県

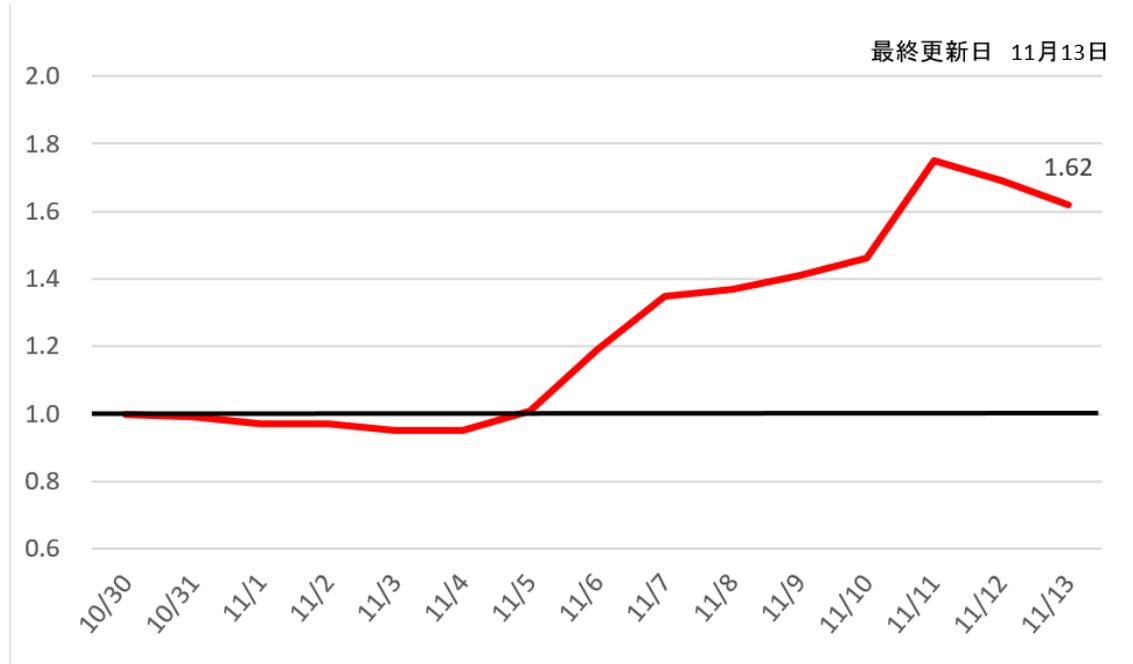


※各日における週合計の感染者数を人口10万人当りに換算

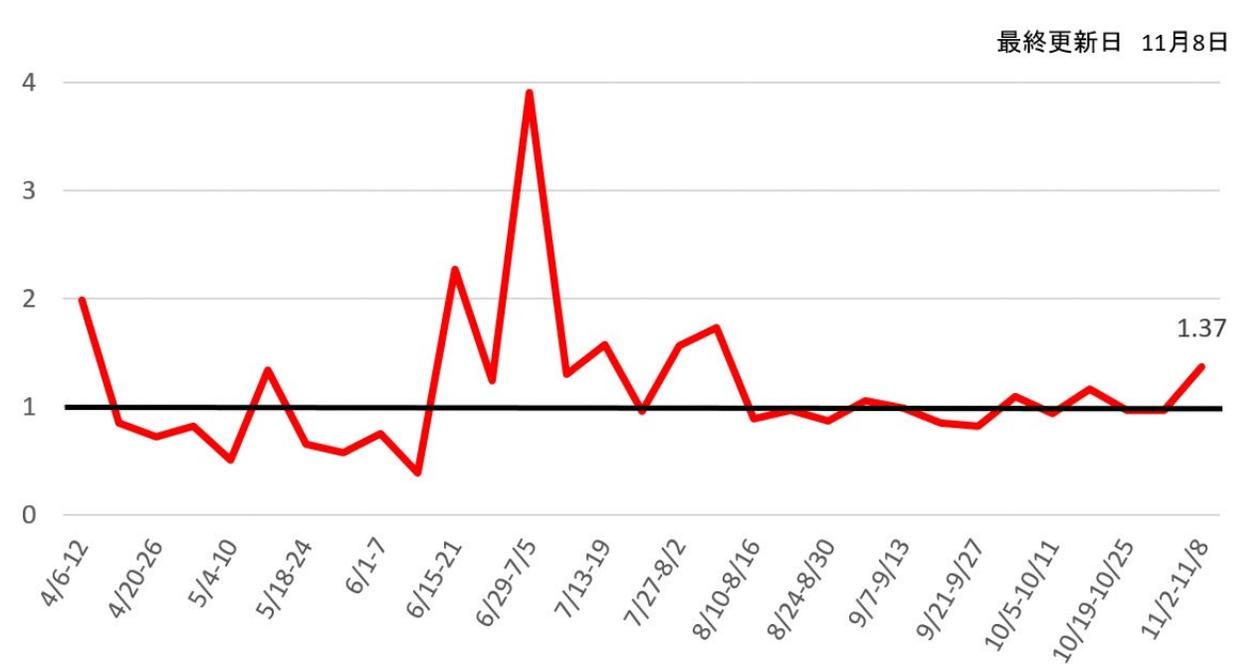
※県のモニタリング指標におけるステージⅢ移行の基準値として、15人（／週）以上であることを設定している。

新規感染者の推移（増加率）（モニタリング指標⑤）

■ 直近 2 週間における増加率



■ 4 月以降の各週増加率



※その日までの直近の 7 日間の新規感染者数
 / その日の 8 日前の日までの 7 日間の新規感染者数
 (例) 8月8日～14日 / 8月1日～7日

※各週の新規感染者数の合計 / 前週の新規感染者数の合計

※県のモニタリング指標におけるステージⅢ移行の基準値として、「直近一週間が先週一週間よりも多い」ことを設定している。

感染経路不明率（モニタリング指標⑥）



11月13日現在

※各日における週平均の推移。クラスターによる新規発生者を含む。

※県のモニタリング指標におけるステージⅢ移行の基準値として、50%以上であることを設定している。

クラスター未終結施設の状況（モニタリング指標⑦）

11月13日現在

施設分類	施設数	陽性患者数
医療機関	5	196
福祉・介護	6	110
学校・大学	0	0
幼保・児童	1	33
その他	8	120

20

459

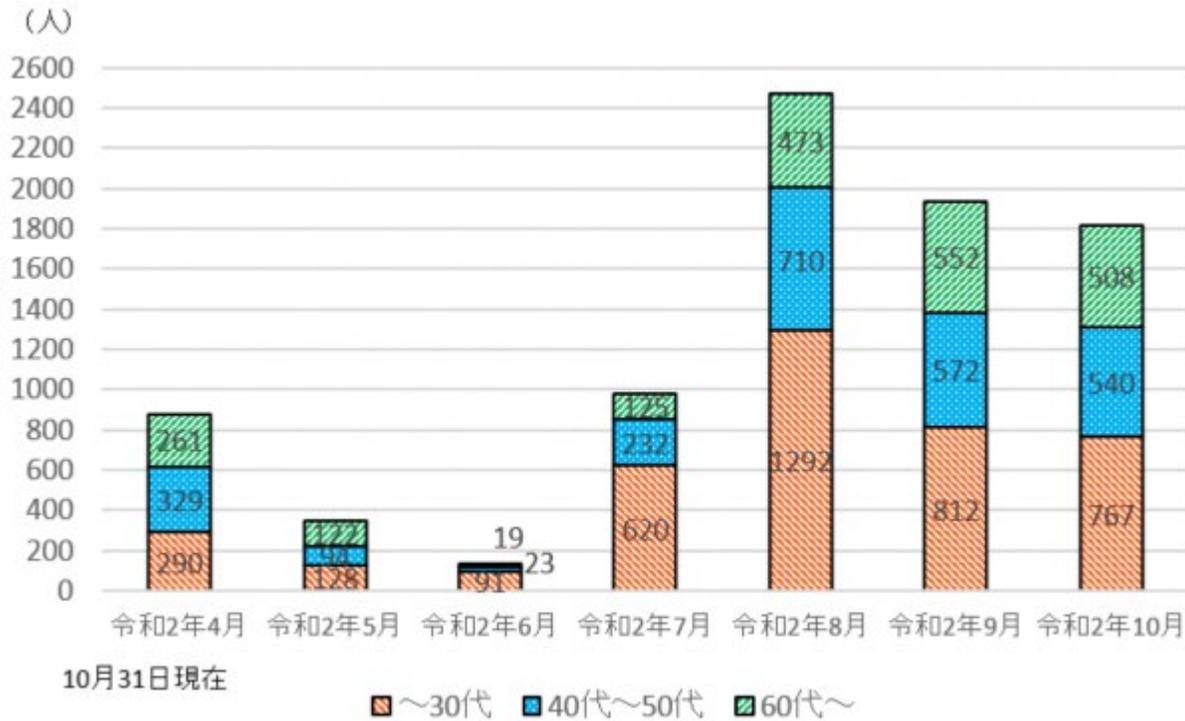
※クラスター：同一施設内において、接触歴等が明らかな5人程度の発生が確認された状況
（未終結の施設数及び陽性患者数を計上）

※未終結：最後の患者が発生してから28日を経過していない場合

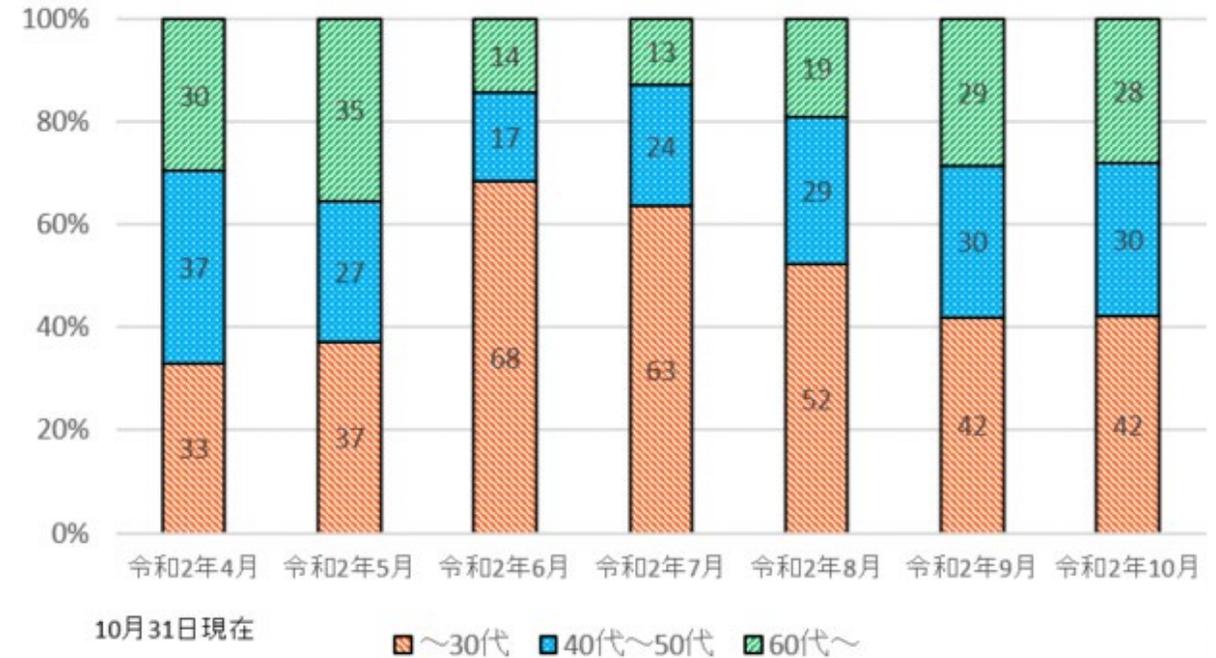
（終結：最後の患者が発生してから28日以内に新たな患者が発生していない場合）

年代別感染者の推移（月別）

■ 実数ベース

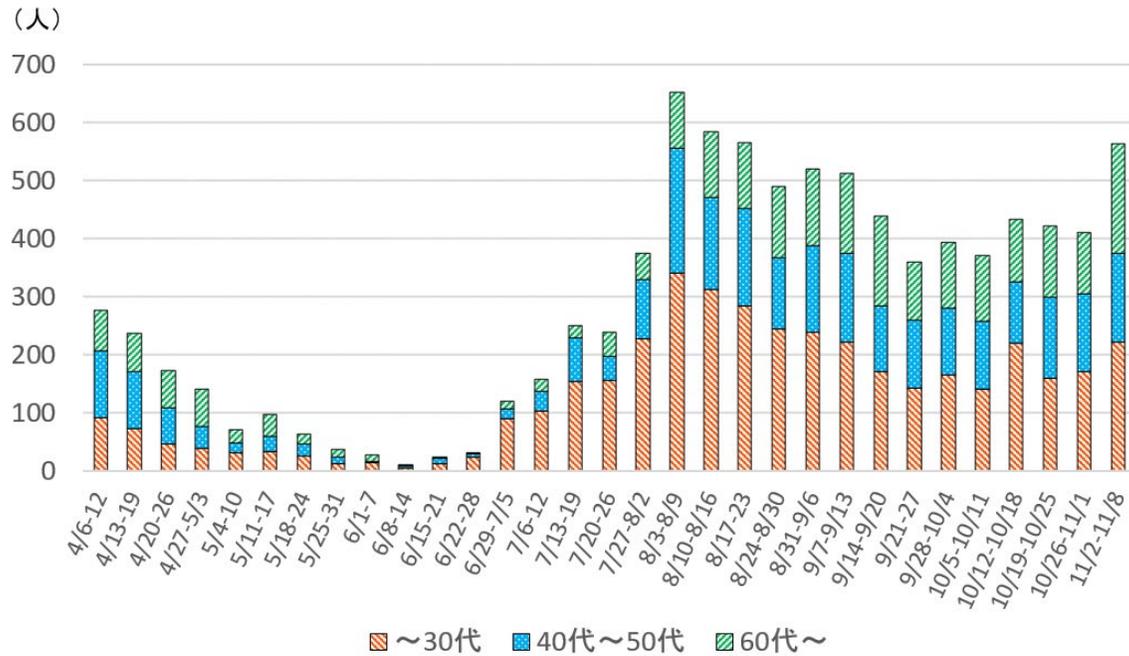


■ 割合ベース

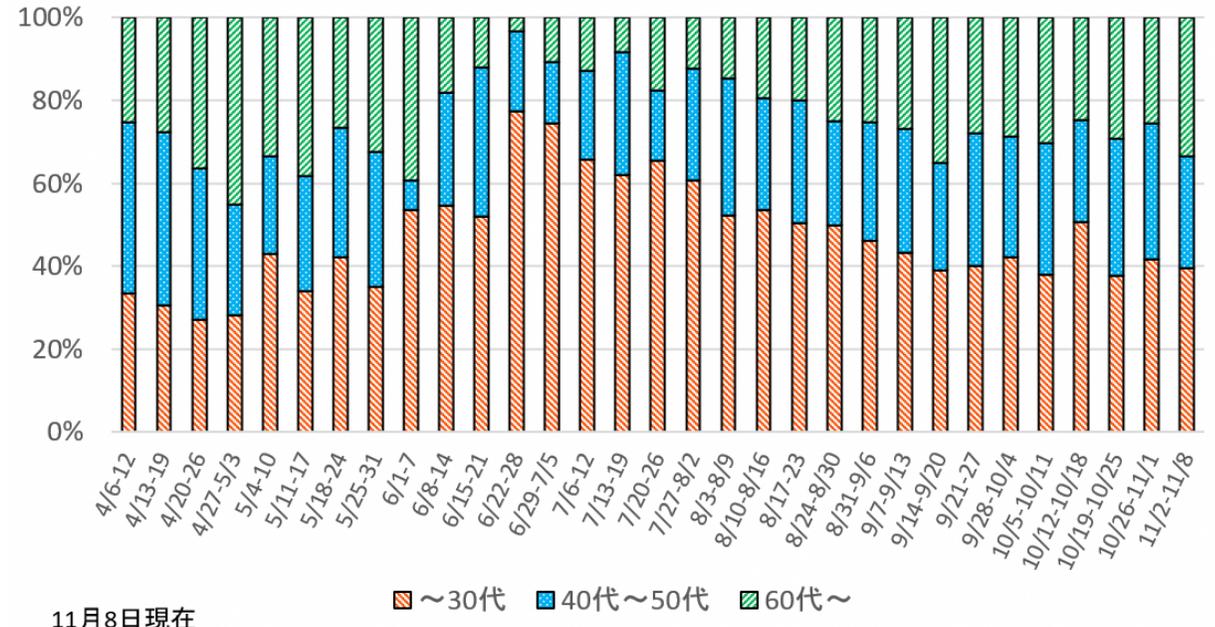


年代別感染者の推移（週別）

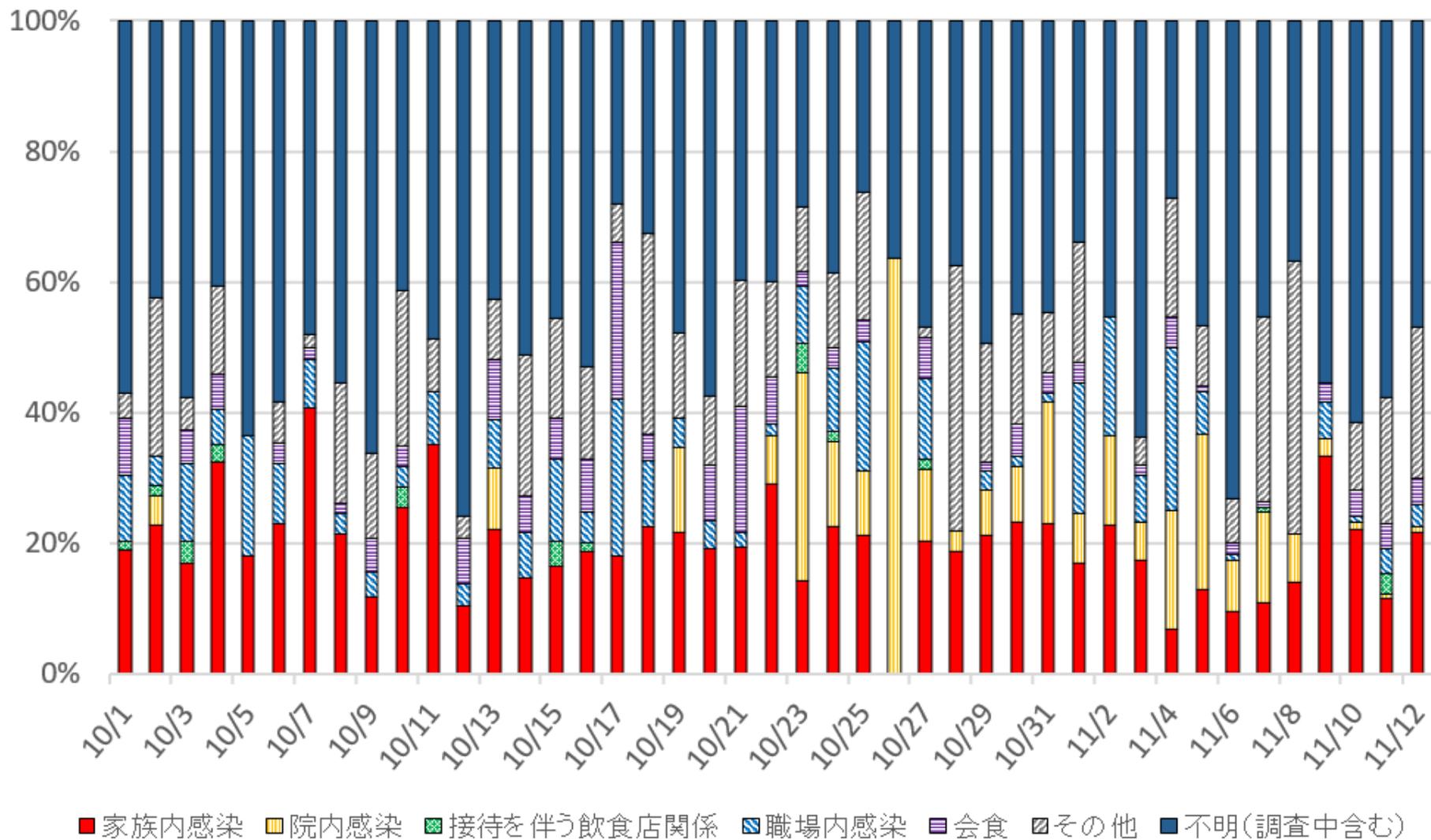
■ 実数ベース



■ 割合ベース

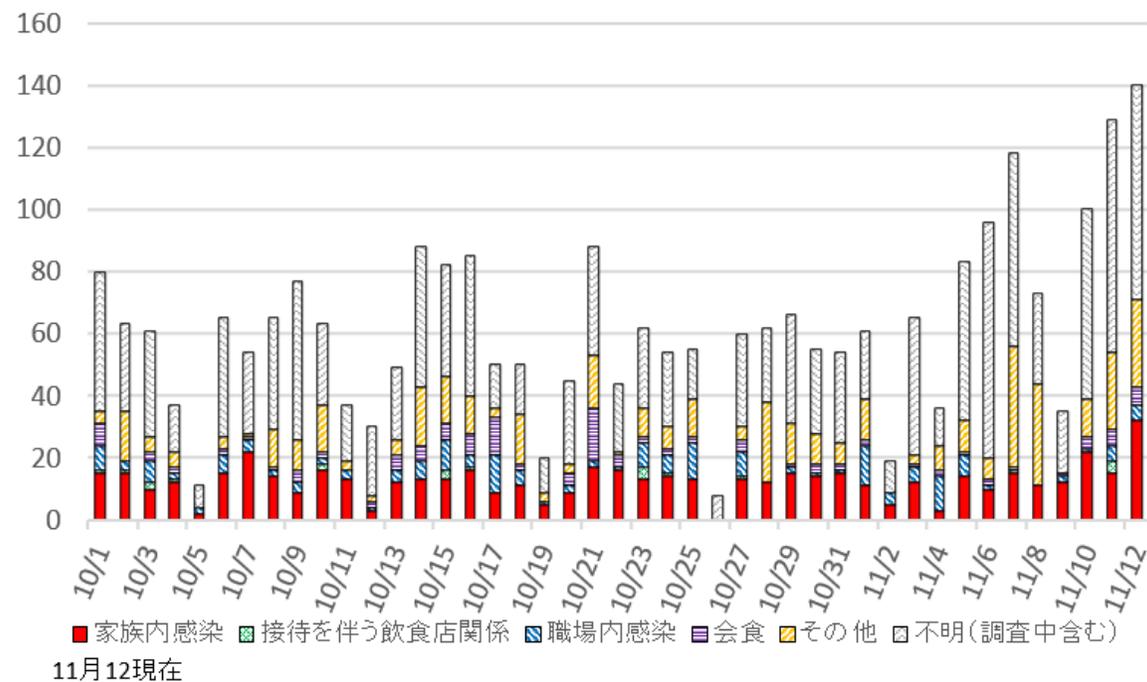
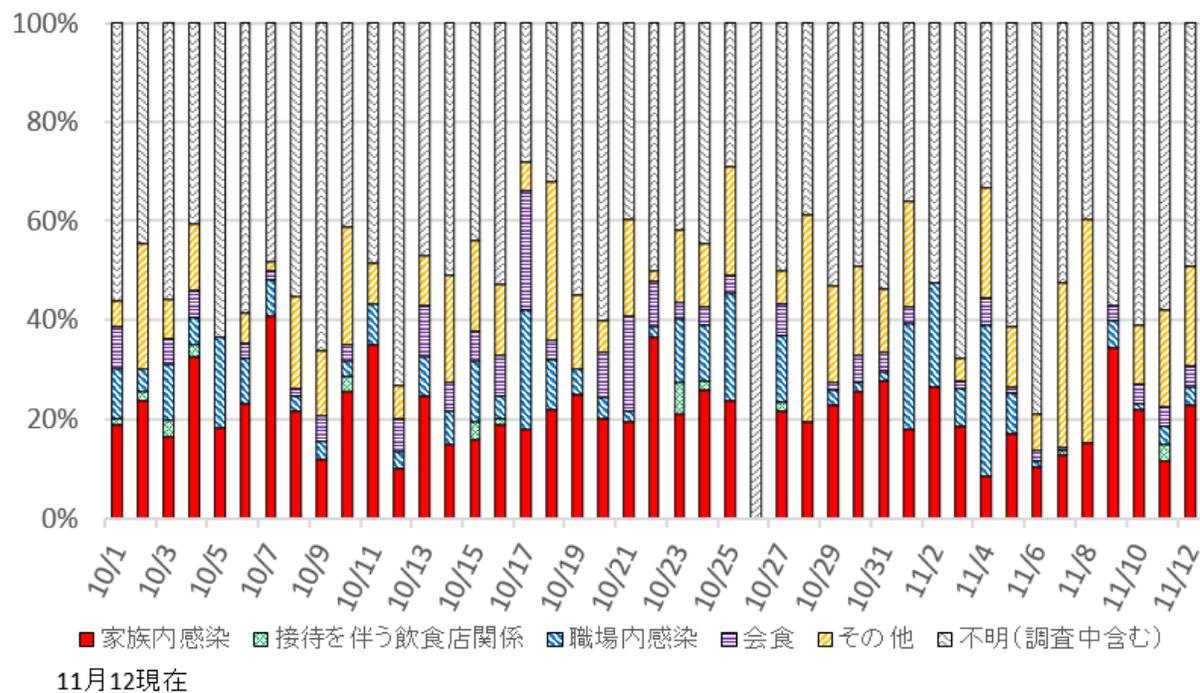


感染経路別



11月12現在

感染経路別（医療施設内発生を除く）



考察

- 新規患者数の急増傾向が持続
- 病床逼迫度が上昇
- 療養者数が増加
- PCR陽性率が上昇傾向
- あらゆる年齢層に拡大
- 感染経路は様々

⇒市中でのウイルス浸透

第2波が終息することなく第3波が上乗せで発生



急速に危険なレベルに到達する可能性が危惧される

第3波対策の困難性

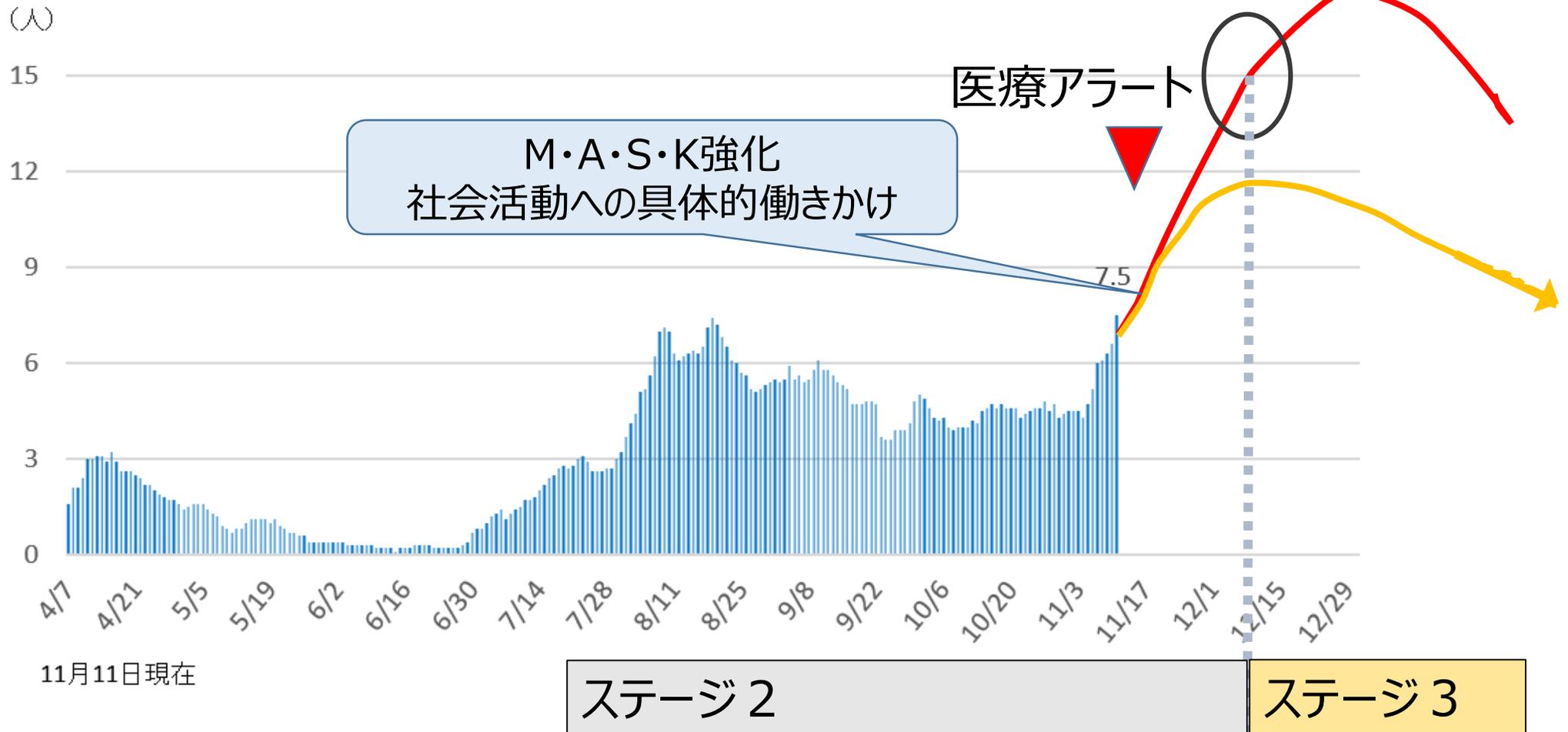
- 寒冷・乾燥⇒ ウイルスに対する感染防御性が低下
- 3密対策 ⇒ 冬季で「密閉」の回避が困難
- 感染経路に特徴がない ⇒ ピンポイントでの対策が困難

県としての対応

新型コロナウイルス感染症対策の神奈川県対処方針（抜粋）

医療提供体制については、感染状況がステージⅢに移行することが見込まれる段階で、医療機関に対して病床拡大の要請を検討する。
なお、病床拡大を要請した場合は、2週間以内に必要な即応病床数を確保する。

⇒病床拡大の要請（医療アラート）の発動を検討する必要がある。



* 第2波が終息せずに第3波が上乗せ⇒急激に危機的状態に至る

知事メッセージ

全国的に、いわゆる第3波と言われる新型コロナの感染が広がっています。本県でも、昨日と一昨日、過去最多の140人台の新規感染者が発生しました。

本県の感染状況は、ステージⅡ（感染漸増）ですが、現在の傾向が続けば、ステージⅢ（感染急増）に移行し、医療機関の病床が不足する事態が想定されます。

そこで、県は本日、新型コロナの受入医療機関に対して、さらなる病床拡大を要請する医療アラートを発動しました。

一方、新型コロナ以外の医療にもしっかりと対応していきますので、県民の皆さんは、必要な治療や健診（検診）は、必ず受けてください。治療と健診（検診）をためらわないでください。

医療体制への負担を抑えるためには、感染者をこれ以上増やさないと必要です。しかし、現状では、感染経路は様々であり、全ての年代に広がっていますので、県民の皆さん、一人ひとりが、ウイルスはどこにでもあるという意識を引き続き強く持って、徹底用心することが「鍵」となります。

今後、ステージⅢや、緊急事態宣言が出されるようなステージⅣ（感染爆発）になると、外出自粛や休業要請などの強い措置を検討せざるを得ない可能性も出てきます。

そうした事態にならないよう、県民や事業者の皆さんには、

M(エム)：適切なマスク着用 A(エー)：アルコール消毒

S(エス)：アクリル板等でしゃへい

K(ケー)：距離と換気、冬はこれに加え、加湿

のM・A・S・K、マスクによる、基本的な感染防止対策の徹底を、改めてお願いします。

また、テレワークや時差出勤など、密を避ける取組についても、引き続き、実施してください。県民の皆さまには、感染防止対策取組書の掲示がないお店には行かないでください。

今後、年末にかけて会食が増える時期を迎えます。飲酒を伴う懇親会や大人数で長時間に及ぶ飲食は、感染リスクが高まると言われています。

大人数での会食は控えるとともに、会食する場合には、飲食するとき以外にマスクを着用する「マスク会食」を、新たなマナーとして実践してください。県においても、「マスク会食」の普及策を検討していきます。

この難局を乗り越えるため、県民総ぐるみでの感染防止に、ご理解とご協力をお願いします。

令和2年11月14日

神奈川県知事 黒岩 祐治